

2021年12月21日

## 新型コロナウイルス（特にオミクロン株）に対する徹底した対策を求める要請

立憲民主党新型コロナウイルス対策本部

新型コロナウイルス「オミクロン株」が、世界各地で感染の拡大傾向がみられる。日本でも空港検疫で多数確認されており、感染力の強さから市中での感染拡大が懸念されている。したがって、水際対策をより徹底させ、オミクロン株の感染拡大を防ぐ観点から、下記の通り、対策を徹底させることを求める。

### 記

- ① 徹底した水際対策を行うため、空港検疫では現在行われている抗原定量検査ではなく、PCR検査を行うこと。
- ② 全ての入国者を指定するホテルでの10日間待機とし1日目、6日目、9日目にPCR検査を実施すること。
- ③ 入国者の待機ホテルへの移動に関しては、できる限り他の人との接触がない導線を確保すること。また、待機ホテルはできる限り到着空港近辺で確保し、移動距離をできる限り少なくし、感染リスクを減らすこと。
- ④ オミクロン株の市中感染を把握するため、全ての陽性者について全ゲノム解析を実施すること。
- ⑤ 希望する人が安価にPCR検査を受けられるよう、体制を整備すること。また、希望するエッセンシャルワーカーが定期的に無料でPCR検査を受けられるようにすること。
- ⑥ オミクロン株対応のワクチンをできる限り早期に入手すること。
- ⑦ 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について、一般の高齢者や基礎疾患のある方、介護職員等も2回目接種後6ヶ月から可能とすること。
- ⑧ 追加接種に必要なワクチンを確実に供給するとともに、具体的な配分量、配送スケジュールなどを早期に示すこと。
- ⑨ 年末年始について、十分な医療体制、検査体制、生活相談体制を確保すること。
- ⑩ 新型コロナウイルスの影響によって所得が減少した「ワーキングプア」の方々に、1世帯あたり10万円の給付金を支給すること。

以上